



# よこ館だより

Est. 1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



## 理事長閑話 うめ草

### 補足 組織の統治、所謂ガバナンス

新しい組織では評議員がきわめて重要な役割・機能を持ちます。その評議員の選任、解任は専門の選任・解任委員会の権限になります。そして新しい評議員会は理事、監事、会計監査人の選任と決算の承認、役員報酬の決定を行います。会社で言うところの株主総会、社団法人の社員総会に準じた権能です。

もう一つの大きな改正は規模の大きな法人では会計監査人の監査が必須事項となります。至誠学舎立川は年間の総事業規模約 60 億円、全国約 20,000 法人の中でも上位 30 番内には入る大規模法人なのです。会計監査人とは所謂公認会計士です。上場企業並みのマネジメントを要求されているのです。大変ではありますが、このシステムを導入することで健全な法人運営そして経営が担保されることとなります。その意味では事業本部による分権的な運営をしてきた至誠学舎立川が、その特徴を生かしながら組織としての統治の原則をクリアーし、牽制機能が働き、恣意的な経営に陥る危険を回避することが出来るのです。至誠学舎立川にとっては極めて重要なマネジメントの要諦です。

会計監査人の監査のポイントは事案決定のプロセスの確認です。言葉を変えて言えば決済の機能と責任の明確化です。現在会計監査人の予備調査として、矢崎芽生公認会計士と法人の担当野島忠幸次長がそれぞれの現場の実地調査を進めています。基本は経理規程に即した決定と決済があるかですが、往々にしてそこが問題になり、現に今年度の東京都の監査でも文書指摘を受けたポイントです。日常的な決定でもその決定プロセスにおいて整合性が問われます。そこで必要なのが決済のラインの確認、そして手順書、マニュアルの整備です。来年度はそこが問われる会計監査人による監査となります。 ~ 次回に続く ~

理事長 橋本正明

## 事業本部長メッセージ



新年あけましておめでとうございます

至誠ホームでは各所で新年を祝う祝賀式や祝膳が行われます。利用者、ご家族、職員皆で新しい年を寿ぎました。ところで今年は酉年、なんと理事長の干支です。

酉年の性格は、優れた洞察力を持ち多くの才能に恵まれ、頭の回転がよく、集中力、持続力もあって熱中型で凝り性の完璧主義者だそうです。そのぶん、こだわりも強く、理想もプライドも高く、柔軟に妥協することが苦手だそうです。

一方、九番目の「申」(猿)と次の十一番目の「戌」(犬)の間に立って犬猿の仲を仲裁するために十番目の干支になったとも言われています。

理事長として申し分のない干支ですね。今年は大きな法人改革の年、皆で力を合わせとり組みましょう。

高齢事業本部長 旭 博之

## 事業本部情報

### 児童事業本部

新年あけましておめでとうございます。昨年末のクリスマスには地域の多くの皆様から子ども達にサンタクロースからのプレゼントとして沢山の贈り物をいただき、こころより御礼申し上げます。

さて、子ども達も新たな年を迎えこころ新たに、一人ひとりそれぞれの目標を明確にし（高校進学、大学進学、就職）自立に向けて準備を進めております。児童事業本部では、いよいよサテライト型児童養護施設が2月に開設いたします。そして、高齢事業本部の開設するアウリンコの中にまことくらぶのアウリンコプラス（障害者短期入所ショートステイ）と、まことカフェ「クッカ」が始まる年でもあります。多くの皆様からのご支援ご協力をいただき重ねて御礼申し上げます。

お正月には毎年恒例に卒園生たちが皆、自分たちの育った故郷である学園に新年の挨拶に元気な顔を見せに来園しました。立派に仕事をしている報告や、かわいい赤ちゃんを連れてくる卒園生がととても頼もしく思います。 本年もどうぞよろしく願いいたします。

（櫻井 壽）

### 保育事業本部

NHK 大河ドラマ「真田丸」が終わりました。先月の休日に、日帰りで上田城址公園に行ってきました。城址公園には「NHKドラマ館」が作られており、ドラマのストーリー、撮影に使われた衣装や登場人物のプロフィールが展示されておりました。

歴史資料を中心に展示してある従来の公設資料館とは別の視点で展示されており、文字による解説の他に図や絵画、模型、音響など視覚・聴覚などによるプレゼンテーションの仕方が参考になりました。

私たちの仕事でも「見える化」が話題になりますが、他業種の取り組みがヒントになることが多々あります。

（高橋 紘）

### 高齢事業本部至誠ホーム

年末年始ホームに沢山のお客様・来訪者が来られます。

自動ドアが開いて 来訪者は受け付けへ向かわれます。

私の席からは左方向の視界に入ります。座っている私は全部観ています。ほとんどの人は「こんにちは、すみません、失礼します。」なりの言葉と共に入ってきます。たまに 何も言わずに入ってくる人がいて、こちらが対応するまで無言で立っている場面に遭遇します。職員も電話対応などで気がつかないことがあります。私や次長が気はつけば声かけして対応しますが、同じことを二回やった若いセールスマンがいて、呼んで注意したことがあります。

先様へと訪問する際は 「爪先立ち」のつもりで緊張して伺うべきだと自分は教えられてきました。採用面接でこちらに訪問しても同様の状況だと考えます。足のかかかどが付くように偉そうに訪問する態度はよくはないと思います。

私たちは物を販売するセールスマンではありませんが、年始にあたり新しい年にお会いする方にはどうぞ微笑みをもって、爪先立ちまでとは言いませんが 新鮮・清廉な気持ちで臨んで行きたいものです。

（金井 裕一）

## 本部事務局だより

昨年12月13日に昨年3月に変更された社会福祉法に基づく定款変更が東京都から認可されました。そこで、定款変更裏話。法人の定款は、法人独自が決めるのが建前ですが、実際は、厚生労働省から出された「定款例」に沿って作りました。今回の定款変更の厚生労働省の定款例は、PDFファイルで配信されていたので、変換ソフトにて、ワードに変換して定款を作成しました。当法人の所轄庁である東京都（知事）宛に定款変更申請をして、しばらくすると担当者から電話が入って条数の表示が算用数字と漢数字でバラついているので統一すべきとか法律改正で変更すべき箇所以外は変えないようにとかの指示がありましたが、ビックリしたのは、不要な空白があるので消したほうがいいといわれたこと。確認すると確かに「・・・、・・・」と点の後に不要な空白が規則的に入っている。これは、PDFからテキスト変換するとき自動的に空白が挿入されたようですが全く気がつきませんでした。文書の校正を行っても見落とすことが多いところなので、「東京都、まじめ！」と感服しました。

年明けから、変更後の定款に基づいた法人運営が始まります。疑問に思うことがあれば、本部事務局までお問い合わせください。今年も宜しくお願いします。 （石橋 正央）

<編集後> あけましておめでとうございます。今年も各事業本部其々とても忙しい1年になるかと思いますが、終わってみれば、充実した1年でもあると実感できるとことを願っております。